

# 街を行く

第94回 ハーレム Harlem

## きちんと魂の入った街でした

米国出張が続いています。本連載で幾度も紹介してきたニューヨークではありませんが、今回は趣向を変えて「ハーレム」の街を訪ねることにしました。この街について話をする前に、ニューヨークについて少しかだけ解説しておきます。ニューヨークは5つの区(マンハッタン、ブルックリン、クィーンズ、スタテンアイランド、ブロンクス)からなり、その中心にあるのがマンハッタンです。マンハッタンはセントラルパークを境に東・西・南・北に分かれ、エリアごとに街の雰囲気が違います。例えばビジネスの中心街といえばロックフェラーセンターのある南側。住宅街は東側で、アップパーイストと呼ばれる少しお高い感じの高級住宅街が広がっています。西側はアップパーウエストと呼ばれ、これもまた住宅街なのですが、東側と比べ自由な雰囲気が漂っています。そして北側が「ハーレム」を中心とした黒人居住区です。小生がかつてニューヨークに駐在していた頃(80年代後半～90年代)は治安面で問題が多く、なかなか訪れることのなかった区域です。しかし近年の開発ラッシュと好景気を受けて、東西の街の住宅はもはや手の届かないほど高価になり、南側のオフィス街にまで住宅開発の手が伸び、かなりの富裕層が生活の場としています。その結果元いた庶民層は北へ北へと生活の場を替え、多くは周りの区(ブルックリンやクィーンズ)に移り住んでいます。北へと伸びる開発は、以前からその中心だったハーレムの存在をも変えていきました。黒人文化の中心であったハーレムは、



数多のスターを生み出した「アポロシアター」(右)と、ソウルフードの地元有名店「シルビア」(左)

色々な物を生み出してきた街です。皆さんご存知と思いますが、ジェームス・ブラウンやマイケル・ジャクソンなど、多くのスター達を輩出してきたブラックミュージックの殿堂「アポロシアター」はここにあります。土曜日に行われるアマチュア大会は今も盛況です。シアター入口前にはハリウッドのチャイニーズシアターにあるようなスターの名前が刻まれたプレートが多く埋め込まれています。ゴスペルの聞こえる教会もあり、ストリートミュージシャンも道端でジャズを奏でています。「これこそが想像していたハーレムだ」と、楽しい気分になりますよね。通りにはソウルフードを出す有名店が軒を連ねています。ソウルフードだけに、お客さんはやはり地元の人かと思いきや、多くは全米やヨーロッパからの観光客でした。つまり、今やこの街はニューヨークでも屈指の観光スポットで、黒人文化に気軽に触れられるいわ

ばテーマパークのような存在なのです。一番大きな街おこしとは“テーマパークづくり”というのが世界中の共通認識と言えそうです。無論、そこに根付いている“文化”がないと、そもそも街をおこす意味がありません。いくらテーマパークとして楽しめそうな機能やカタチを作っても、街の由来や歴史、文化といった“魂”の部分を忘れてはいけませんね。

### 南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。